

足元の株式市場の相場環境について

- 新型コロナ感染拡大などへの懸念で日経平均株価はNYダウと比べやや軟調に。
- 今後については、米国が世界景気をけん引することで恩恵を受け、日本株も堅調な展開か。

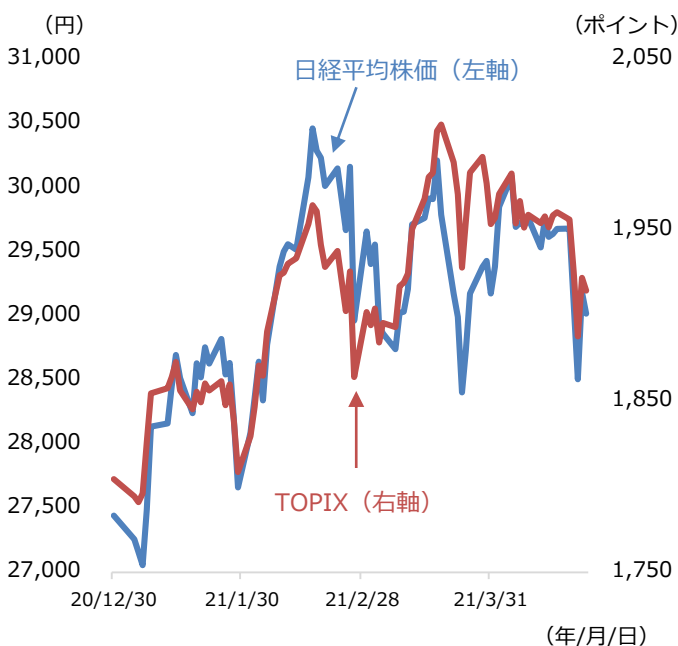
NYダウと比べ、足元やや軟調な日経平均

- ✓ 足元の日経平均株価は、NYダウなど海外株価指数と比べ、やや軟調な展開となっています。NYダウは4月16日に過去最高値を更新したのに対し、日経平均株価は2月16日につけた終値ベースの今年最高値（30,467円）から、やや遠ざかっています（4月23日の終値29,020円）。
- ✓ NYダウが過去最高値近辺で堅調に推移している要因としては、1.9兆ドルの追加経済対策実施やワクチン接種の普及による、先行きの景気回復期待が考えられます。米長期金利の上昇一服で、3月やや軟調だったナスダックも足元では価格が上昇してきています。
- ✓ 日経平均株価が軟調な要因としては、新型コロナ感染拡大により銀行や鉄道など内需株が特に軟調となっていること、4月下旬から本格化している決算発表で、アナリストの予想に届かない今期（2021年度）の業績見通しが発表されるリスクが警戒されていること、などが考えられます。

米国が世界景気をけん引し、日本株が恩恵を受ける展開に期待

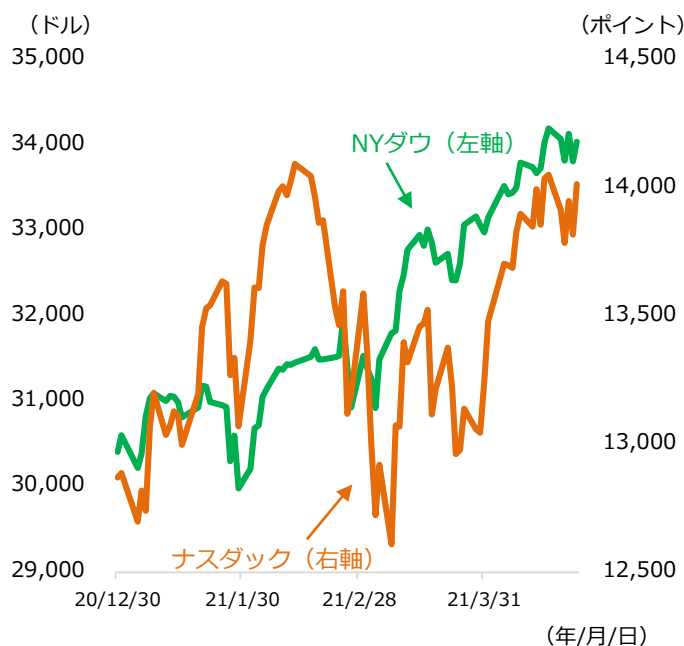
- ✓ 今後については、米国を中心とした世界景気のリcoveryが続くことで、自動車などの景気敏感業種の影響が大きい日本株も恩恵を受け、堅調な展開になるとみています。ただし、米長期金利が直近のレンジを超えて一段と上昇する場合には、株価の上昇基調が変化する可能性があるため、米長期金利の動向にも注目する必要があると考えています。

日経平均株価とTOPIX



期間：2020年12月30日～2021年4月23日、日次
出所：ブルームバーグもとにちばぎんアセットマネジメント作成

NYダウとナスダック



期間：2020年12月30日～2021年4月23日、日次
出所：ブルームバーグもとにちばぎんアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした上記日時における当社の意見です。投資に関する最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこの資料は作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。加えて、この資料に記載された当社の意見ならびに予測は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【日経平均株価について】

- 日経平均株価は、日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、日本経済新聞社は、日経平均株価自体及び日経平均株価を算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。/日経平均株価は日本経済新聞社が設定した独自のルールに沿って維持、運営しています。構成銘柄を定期的に見直したり、指数委員会を設けるなどして、指数としての機能や中立性の維持、向上に努めています。/日経平均株価を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、すべて日本経済新聞社に帰属しています。日本経済新聞社は1993年6月に「日経平均株価」の商標を、1995年5月にサービスマークを登録済みです。海外ではNikkei Stock Average、Nikkei225を主要国で登録しています。/日本経済新聞社は、日経平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。/日本経済新聞社は、日経平均株価の計算方法など、その内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。/日本経済新聞社は、日経平均株価を対象としたすべての金融商品等に対して、それらを保証するものではなく、一切の責任を負いません。